

第483号 2019年10月16日
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

令和元年度弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター特別展

『石器大好き！-寄贈記念 高橋啓一コレクション』展

1. 主旨

昨年末にむつ市内にお住いの高橋啓一さんから、長年収集された考古資料を全て弘前大学に寄贈していただきました。遺跡の宝庫である青森県内にはまだ個人が所蔵している考古資料が眠っていますが、その多くが常に散逸の危機に瀕しています。こうした地域の宝を地元に残し、郷土の歴史や文化に関する教育・研究に役立てるのも、大学の果たすべき地域貢献の一つと考えます。

高橋さんのコレクションは、下北半島の遺跡で採集品にほぼ限定されるのが特徴です。下北は津軽や南部に比べ開発が少ないことから、遺跡が発掘調査される機会が少なく、北海道と本州とを結ぶ重要な地域でありながら、これまで不明な点が多い地域でした。高橋さんのコレクションは、下北半島の縄文時代や弥生時代の様相を知る上で、大変重要な資料です。

高橋さんのコレクションのもう一つの特徴が石器の数の多さです。石鏃だけでも1万点以上あります。おそらく石器の個人コレクションとしては日本最大級といえるでしょう。

今回は出土場所がわかる遺物のなかから約5,000点の遺物を選び展示しました。なかでも北海道とのつながりを示す縄文晩後半から弥生前期の黒曜石製石偶や、弥生前期から中期初頭の碧玉製管玉は、発掘調査でもなかなか見つからない貴重な遺物です。

石器は現在、本学の学生が卒業研究で整理・分析を進めており、今回の展示では、石器に使われた石材の時期的変化や地域的な違いなど、分析結果の一部もお示ししています。



2. 開催期間 2019年10月12日（土）～11月10日（日）

10:00～16:00 ※期間中無休 ※入場無料

3. 主催 弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター

4. 会場

弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター展示室

〒036-8560 青森県弘前市大字文京町1番地 弘前大学文京町キャンパス 総合教育棟2階

問い合わせ先 弘前大学人文社会科学部 北日本考古学研究センター

電話：0172-39-3190

教員交流プログラム・テネシー大学マーチン校（米国）プレゼンテーションおよび学術講演会

のお知らせ

このたび、2019年度教員交流プログラムでテネシー大学マーチン校からKelle Alden助教をお招きして、下記のとおりプレゼンテーションおよび学術講演会を開催いたします。

どなたでもご参加できますので、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

【講師】

テネシー大学マーチン校人文学部英語学科
ライティングセンター長 Kelle Alden 助教

1. プレゼンテーション

【日時】 2019年10月23日（水） 12:00～13:00

【場所】 イングリッシュ・ラウンジ（総合教育棟2階）
（昼食持ち込み可、途中退出可）

2. 学術講演会

【日時】 2019年10月24日（木） 14:30～15:30

【場所】 総合教育棟2階 203講義室

※両講演とも英語で行われます。

※学生・教職員、どなたでも参加できます。

※事前申し込み不要

【問い合わせ先】

弘前大学国際連携本部 TEL: 0172-39-3114 E-mail: jm3114@hirosaki-u.ac.jp

2019 教員交流プログラム

UNIVERSITY OF TENNESSEE MARTIN

テネシー大学マーチン校

（講師）
テネシー大学マーチン校・助教
ライティングセンター長
Dr. Kelle Alden
Associate Professor of English and Director of the Writing Center
The University of Tennessee at Martin

プレゼンテーション

＜タイトル＞ An Introduction to Writing Center Studies
～アメリカ流ライティング指導法～

＜日時＞ 2019年10月23日（水） 12:00～13:00

＜場所＞ 総合教育棟2階 イングリッシュラウンジ

事前申込不要

学術講演会

＜タイトル＞ More Than We Imagined: The Diversity in Our Beliefs about Creative Writing

＜日時＞ 2019年10月24日（木） 14:30～15:30

＜場所＞ 総合教育棟2階 203講義室

● 学生、教職員、どなたでも参加できます。
● 英語演説も英語で行われます。

（問い合わせ先）
弘前大学国際連携本部
Tel: 0172-39-3114
E-mail: jm3114@hirosaki-u.ac.jp

トンプソン・リバーズ大学説明会のお知らせ

このたび、本学の協定校であるトンプソン・リバーズ大学（カナダ）からラリー・ピアット財務部長とリカ・キムラ留学生アドバイザーをお招きして、留学説明会を行います。

カナダでの暮らしのこと、カムループス市のこと、カナダでの留学生活についてなど、気になることを直接質問してみませんか。職員に日本語で質問できますので、お気軽にご参加ください。令和2年中に実施されるトンプソン・リバーズ大学への短期留学、長期留学についても紹介します。学生のみなさんの参加をお待ちしています。

記

【日時】 令和元年10月29日（火） 13:30～14:00（月曜の授業日）

【場所】 イングリッシュ・ラウンジ（総合教育棟2階）

【講師】 ラリー・ピアット財務部長、リカ・キムラ留学生アドバイザー

TRU PROMOTION

トンプソン・リバーズ大学説明会

カナダのトンプソン・リバーズ大学の職員が本学を訪問し、説明会を開催。留学に関するお問い合わせや質問に日本語で回答できます。お気軽にご参加ください。
令和2年中に実施されるトンプソン・リバーズ大学への短期留学、長期留学についても紹介します。学生のみなさんの参加をお待ちしています。

ラリー・ピアット
リカ・キムラ

＜日時＞
2019年10月29日（火）
※月曜日の授業
13:30～14:00

＜場所＞
総合教育棟2階
イングリッシュラウンジ

＜問い合わせ先＞
国際連携本部ポストオフィス jm3114@hirosaki-u.ac.jp
※事前申込不要
※TPOの職員に日本語で質問できますので、お気軽にご参加ください！

【内容】 トンプソン・リバーズ大学の紹介

【対象】 学生・教職員、どなたでも参加できます。

【申込】 事前申し込みは不要です。

※入退場自由です。

※日本語で質問可能ですので、お気軽にご参加ください。

※詳細は弘前大学国際連携本部HPをご覧ください。

URL <http://www.kokusai.hirosaki-u.ac.jp/blog/2019/10/new35/>

【問い合わせ先】

弘前大学国際連携本部

TEL : 0172-39-3114 E-mail : jm3114@hirosaki-u.ac.jp

市民フォーラム2019「耐え難いほど正義に反する」袴田裁判を問い直す！

—袴田秀子さんを迎えて—

袴田事件は、1966年に静岡県で発生した強盗殺人事件です。その犯人とされた袴田巖さんは無実を訴え続け、ついに、2014年3月、静岡地方裁判所が再審開始と死刑および拘置の執行停止の決定をしました。しかし、2018年6月に東京高等裁判所がこの決定を取り消して再審請求を棄却したため、現在も最高裁判所に特別抗告がなされ、裁判が続いています。

今回のフォーラムでは、その袴田巖さんのお姉さんである袴田秀子さんをお迎えしてお話を伺います。そして、専門家も交えて、冤罪や再審制度などについて改めて考えてみたいと思います。興味のある方は、是非ご参加ください。

1. 日 時 : 2019年11月2日(土) 14:00~16:30

2. 場 所 : 弘前市民会館1階大会議室

3. 対 象 : 本学教職員、学生、一般の方等どなたでも
※事前申し込みは不要です。

4. 参加費 : 500円(当日券のみ)

5. 内 容 :

第1部 いま、袴田再審事件について語る

ゲスト: 袴田 秀子(袴田巖死刑囚の姉)

山崎 俊樹(袴田巖さんを救援する清水・静岡の会事務局長)

第2部 パネルディスカッション「市民生活と冤罪と…」

パネリスト: 山崎 俊樹

福島 至(龍谷大学法学部教授)

飯 考行(専修大学法学部教授)

6. 主 催 : アムネスティ・インターナショナル日本 弘前グループ

共 催 : 日本国民救援会中弘支部

学内問い合わせ先 : 弘前大学人文社会科学部 平野 潔

AMNESTY INTERNATIONAL アムネスティ・インターナショナル日本 弘前グループ設立30周年企画
市民フォーラム2019
「耐え難いほど正義に反する」
袴田裁判を問い直す！
—袴田秀子さんを迎えて—

2019年11月2日(土) 14:00~16:30
会場/弘前市民会館1F大会議室
参加費/500円(当日券のみ)

【第1部】いま、袴田冤罪事件について語る
ゲスト: 袴田秀子(袴田巖死刑囚の姉)
山崎俊樹(袴田巖さんを救援する清水・静岡の会事務局長)

【第2部】パネルディスカッション「市民生活と冤罪と…」
パネリスト: 山崎俊樹(専修大学法学部教授) 飯考行(専修大学法学部教授)

アムネスティ・インターナショナルの海外組織が組織して30年、これまで冤罪人権被害者に種々たる基本的人権を市民生活に響かせる様々な活動に取り組み続けてきました。今回は冤罪を許さず死刑廃止を求め、48時間拘置に苦しむ袴田巖さんの姉、袴田秀子さんを前に迎え、冤罪と再審制度や裁判権制について専門家を交えてのフォーラムを開催しました。裁判制度、死刑制度、刑事司法改革、道徳的価値観など多岐にわたる市民の関心の高いテーマを、ご意見を交わしてください。

主催: アムネスティ・インターナショナル日本 弘前グループ 共催: 日本国民救援会中弘支部
お問い合わせ: 090-8781-3553 (携帯)

電話：0172-39-3199

E-mail：k-hirano@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学人文社会科学部 国際公開講座2019「日本を知り、世界を知る」

人文学で／人文学を探究する【文化の日は弘前大学へ行こう！】

人文学の「今」—日本や世界の文化・歴史に関する最新の研究成果—をわかりやすくお伝えします。今年度は「人文学で／人文学を探究する」をテーマとして、弘前大学における多彩な「人文学」研究を、4名の教員が紹介します。また、台湾の研究者をお招きして特別講演も行います。世界各地の文化や歴史について、最新の研究成果に基づき、地域の皆さまにわかりやすくお伝えします。

- 日時：令和元年11月3日（日・祝「文化の日」）
10：00～16：30（開場9：30）
- 場所：弘前大学創立50周年記念会館2階
岩木ホール（弘前市文京町1番地）
- 主催：弘前大学人文社会科学部
弘前大学人文社会科学部 地域未来創生センター
- 対象：80名（一般の方）
- 参加料：無料
- 申込み：事前申し込み不要・当日参加可能
（会場の定員になり次第、締め切らせていただきます。）
- 問い合わせ先：弘前大学人文社会科学部総務グループ（福士）
住所：青森県弘前市文京町1 電話：0172-39-3192
E-mail：jm3192@hirosaki-u.ac.jp
- プログラム



10：00～10：10 開会の辞

講演1 10：10～11：00

講師 人文社会科学部 講師 畑中 杏美

講演2 11：10～12：00

講師 人文社会科学部 准教授 原 克昭

講演3 13：00～13：50

講師 人文社会科学部 准教授 上條 信彦

講演4 14：00～14：50

講師 人文社会科学部 教授 渡辺 麻里子

【特別講演】15：00～16：20

台湾大学文学部・副教授 張 文薫先生

16：20～16：30 閉会の辞

シンポジウム 青森県の裁判員裁判—これまでの10年間を振り返る—のお知らせ

裁判員制度が施行されて10年が経ちました。本シンポジウムでは、法曹三者、市民（裁判員経験者）、研究者それぞれの目に裁判員裁判がどのように映っているのか、10年目を迎えた裁判員制度の成果と課題は何かを検証していきます。その上で、次の10年に向けて、裁判員制度をどのように育てていくべきかを参加者を交えて議論したいと思います。裁判員制度に興味のある方は、是非ご来場ください。

1. 日 時 : 2019年11月3日（日・祝） 14:00～17:30
2. 場 所 : 弘前大学人文社会科学部棟4階 多目的ホール
3. 対 象 : 本学教職員、学生、一般の方等どなたでも（参加無料）
※事前申し込みは不要です。

4. 内 容 :

第1部 報告「裁判員裁判10年の成果と課題」

報告者：平野 潔（弘前大学人文社会科学部）
宮崎秀一（北里大学教職課程）
飯 考行（専修大学法学部）
古玉正紀（青森地方裁判所）

第2部 「裁判員経験者が感じた裁判員裁判」

登壇者：裁判員経験者
進 行：平野 潔（弘前大学人文社会科学部）

第3部 パネルディスカッション「市民・法曹の目から見た裁判員制度」

パネリスト：裁判員経験者
古玉正紀（青森地方裁判所）
吉武恵美子（青森地方検察庁）
竹本真紀（青森県弁護士会）
コーディネーター：飯 考行（専修大学法学部）

5. 主 催 : 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター
弘前大学人文社会科学部

※ 裁判員を経験した方で、その経験を守秘義務に違反しない範囲で学生にお話いただける方を募集しています。ご協力いただける方は、下記問い合わせ先にご連絡ください。

問い合わせ先 : 弘前大学人文社会科学部 平野 潔
電 話 : 0172-39-3199
E-mail : k-hirano@hirosaki-u.ac.jp

共用機器基盤センター 共焦点レーザー顕微鏡セミナーのお知らせ

共用機器基盤センターでは、共焦点レーザー顕微鏡に関するセミナーを開催します。

本セミナーでは、バイオイメージング技術開発の第一人者である加藤薫氏（国立研究開発法人産業技術総合研究所バイオメディカル研究部・主任研究員）、オリンパス(株)ライフサイエンスマーケティング 細野和彦氏等を本学に招き、一般的な光学顕微鏡（偏光顕微鏡、微分干渉顕微鏡、位相差顕微鏡など）から、共用機器基盤センターに導入されている蛍光顕微鏡、共焦点顕微鏡について



て、さらに、最新の2光子顕微鏡、全反射顕微鏡、超解像顕微鏡など、その原理から応用技術まで幅広く講演いただきます。

また、加藤氏が最近始めたAIやロボットと連携した顕微鏡観察の試みについても触れる予定となっておりますので、この機会にぜひご参加いただきますようお願いいたします。

1. 日 時 令和元年11月6日（水）13：00～15：50
2. 場 所 コラボ弘大 8F 八甲田ホールA・B
3. 演 題 「光学顕微鏡で生体試料をみる－基礎から応用まで－」
「対物レンズの基礎知識」
「共焦点レーザー顕微鏡の概要」
「光学顕微鏡でナノレベルの微細な構造をみる」
4. 講 師 産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部
主任研究員 加藤 薫 氏
オリンパス(株)ライフサイエンスマーケティング
細野 和彦 氏、加藤 誠 氏
5. 対 象 教職員、学生、一般の方
6. 参 加 費 無料
7. 申 込 み 10月31日（木）までに、①所属、②氏名、③役職、④電話番号を添えて下記担当までお申込みください。
座席に余裕がある場合は、当日参加も歓迎します。
8. 担 当 弘前大学研究推進部研究推進課 共用機器基盤センター担当
TEL：0172-39-3913 E-mail：kiki@hirosaki-u.ac.jp

「放射線生物学・防護学セミナー」開催のお知らせ

大学院保健学研究科では、この度、ストックホルム大学よりWojcik教授、むつ総合病院より真里谷靖副院長のお二方をお招きし、放射線治療生物学及び放射線防護学に関連する研究交流セミナーを開催いたします。

保健学研究科は、平成25年3月にストックホルム大学 放射線防護研究センターと部局間学術協力協定を締結してから、放射線教育・研究の両面で相互に情報共有や人的交流を継続して多くの成果を創出してまいりました。更なる活性化を目指し、多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

学生・研究員・教職員どなたでもお気軽にご参加ください。

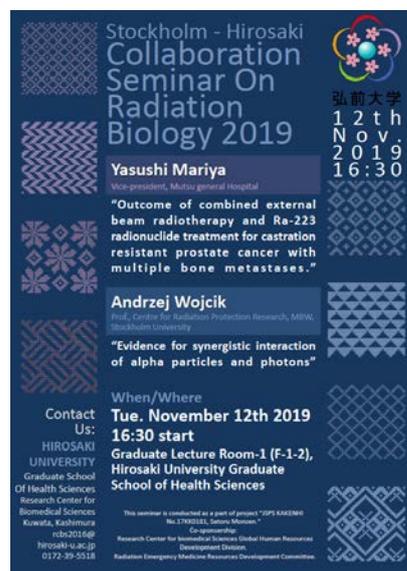
記

【日時】 令和元年11月12日（火） 16:30～

【会場】 保健学研究科 大学院講義室1（F棟1階）

【セミナータイトル】

1. Yasushi Mariya, Vice-president (Mutsu general Hospital).
“Outcome of combined external beam radiotherapy and Ra-223 radionuclide treatment for castration resistant prostate cancer with multiple bone metastases.”
2. Andrzej Wojcik, Prof. (Centre for Radiation Protection Research, MBW, Stockholm University).
“Evidence for synergistic interaction of alpha particles and photons”



【共催】

- ・ 科研費事業（国際共同研究加速基金）：17KK0181 代表者：門前暁
「がん骨転移放射線療法の新たな抗腫瘍効果・副作用マーカーの探索」
- ・ 生体応答科学研究センター
- ・ 被ばく医療人材育成推進委員会グローバル人材育成部門

【お問い合わせ】

保健学研究科総務グループ・桑田

Tel: 0172-39-5518（内線5518） E-mail: kuwata@hirosaki-u.ac.jp

「世界糖尿病デー in 弘前」のお知らせ

11月14日は国連により公式認定されている「世界糖尿病デー」です。世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する様々なイベントが開催されています。我が国でも全国各地で観光施設や著名な建造物がブルーにライトアップされます。

弘前市では、「弘前城のブルーライトアップ」を行います。また、それに先立ちまして11月9日にはホテルニューキャッスルにて「弘前公開糖尿病教室」を行います。

どなたでもご参加いただけます。ぜひこの機会にご自身やご家族、大切な人と一緒に糖尿病について考えてみませんか？

【日程】

- ◎2019年11月14日（木）17時～21時まで
世界糖尿病デー ブルーライトアップ
場所：弘前城（弘前市下白銀町3）
点灯：2019年11月14日（木）17時
写真撮影：2019年11月14日（木）点灯後

- ◎2019年11月9日（土）14：00～15：45
第24回 弘前公開糖尿病教室
場所：ホテルニューキャッスル弘前（青森県弘前市上鞆師町24-1）

第13回弘大病院がん診療市民公開講座開催のお知らせ

弘前大学医学部附属病院のがん診療を広く市民の皆様を知っていただくことを目的に、公開講座を開催いたします。

膵臓がん、前立腺がんについて、専門家がそれぞれの立場から市民の皆様にはわかりやすく講演いたします。講演後には質疑応答の時間を設けております。

1. 日 時：令和元年12月1日（日）13：00～15：30
2. 場 所：弘前市民会館 大会議室（弘前市大字下白銀町1番地6）
3. 内 容：演題1 すい臓がんの治療について
演題2 知って得する前立腺がんの話

世界糖尿病デー in 弘前

ブルーライトアップ

点灯：11月14日（木）17時頃
場所：弘前城

今年は？

点灯後に写真撮影を行います。

主催：弘前大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科学講座

弘前公開糖尿病教室

11月9日（土）14:00～15:45
ホテルニューキャッスル弘前



いずれも
参加申込不要、参加費無料
どなたでもご参加いただけます。
糖尿病について一緒に考えて
みませんか？

講師：弘前大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科学 担当（佐藤）
TEL: 0172-39-5062 FAX: 0172-39-5063 E-mail: eri-s@hirosaki-u.ac.jp

第24回 弘前公開糖尿病教室

日 期 2019年11月9日（土）14:00-15:45（受付開始13時半）

会 場 ホテルニューキャッスル弘前 2階 禮堂

〒036-8354 青森県弘前市上鞆師町24-1 TEL: 0172-36-1211

入場無料（事前の申込不要、先着順、定員150名）

血糖測定コーナーを設けております。どなたでもご参加いただけます。

プログラム	
14:00-14:40 講演1	今村クリニック 院長 今村 憲市 先生
『 糖尿病とうまく付き合うために 』	弘前大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科学講座 講師 松橋 有紀 先生
14:50-15:30 講演2	はるひと診療所 院長 片野 善人 先生
15:30-15:45 質疑応答	

主催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

後援（予定）：弘前市医師会 青森県糖尿病協会

（お問合せ）

青森市古川2-20-3 朝日生命青森ビル7階

ノボ ノルディスクファーマ株式会社 TEL: 017-773-0031

11月14日（木）17:00-21:00 世界糖尿病デー ブルーライトアップ

弘前公園内 弘前城天守

4. 対 象 : 一般市民 (定員100名)
5. 入 場 料 : 無料
6. 事前申込 : 不要
7. 問い合わせ先 : 弘前大学医学部附属病院がん相談支援センター TEL : 0172-39-5174 (直通)

「令和元年度 情報処理学会東北支部研究会(弘前大学)」 開催案内(発表論文募集)

研究会の開催および発表論文募集を併せてご案内します。多くの方々のご参加をお待ちしております。

日時 : 2020年 2月 20日 (木) 9:00~17:30 (開催時間は予定)
会場 : 弘前大学 総合教育棟3階309講義室
〒036-8561 青森県弘前市文京町1番地(文京地区キャンパス)
アクセス http://www.hirosaki-u.ac.jp/wp_access.html
主催 : 情報処理学会東北支部
共催 : 弘前大学理工学部電子情報工学科

発表申込方法 : 申込締切日時まで、下記内容を申込先に電子メールにてお知らせください。

- (1) 発表題目
- (2) 著者氏名(所属) (登壇者名の前に○印)
- (3) 連絡先メールアドレス
- (4) その他(同一研究室での発表順等, 何かありましたらご記入ください)

申込締切 : 2020年2月6日 (木) 21:00まで

申込先 :

ご氏名 岡崎功
ご住所 〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地
ご所属 弘前大学理工学研究科
電話番号 0172-39-3661
E-mail: ipsj-hiro@eit.hirosaki-u.ac.jp

備考 :

- (1) 発表時間は15分(発表12分, 質疑応答3分)の予定です。
- (2) 発表申込みをされた方には、確認用の電子メールをお送りします。また、プログラム確定後に開催番号、セッション番号等をご案内します。
- (3) 発表用機材として 프로젝タを用意します。ノートパソコン等をご持参ください。
- (4) 開催日当日に発表論文(配布資料)を40部持参してください。様式は東北支部ホームページ <http://www.topic.ad.jp/ipsj-tohoku/doku.php?id=paper> から、Vol, No付きのテンプレート(WEB公開希望の有無でどちらかのテンプレートを選択)をご参照ください。Vol, Noについては、別途ご案内しますが、Vol.2019-開催番号 No.セッション-発表順 となります(例 Vol.2019-9 No.A1-1)。
WEB公開希望の場合は、東北支部ホームページから著作権譲渡契約書をダウンロードし、ご記入の上、発表論文のpdfとともに2月末まで上記申込先までお送りください。発表論文のファイル名は 2019-開催番号-セッション-発表順.pdf, 著作権譲渡契約書のファイル名は sigjouto-2019-開催番号-セッション-発表順.pdf としてください。
- (5) 研究会終了後の懇親会は予定しておりませんのでご了承ください。

2019年度 第2回油化学セミナー 短命県返上に向けた油との正しい付き合い方（再掲）

食品に含まれる油は美味しさを引き出すとともに、身体の動かすための重要なエネルギー源です。一方で油を摂取しすぎるとは肥満に関与した様々な疾患の原因となります。また青森県は短命県であり、肥満に関与した疾患の割合が高いことも問題となっています。そこで、健康な生活の秘訣となる油との正しい付き合い方をテーマに、食品や生活習慣を考えるセミナーを企画しました。また、健康な生活を送るためのヒントとなる情報や研究成果について講演して頂きます。多数のご参加お待ちしております。

日 時： 2019年10月19日（土） 13:30～17:00（受付開始 13:00）

会 場： 弘前大学文京町キャンパス 弘前大学創立50周年記念会館
2階 岩木ホール
(青森県弘前市文京町1番地)

主 催： (公社) 日本油化学会 関東支部

共 催： (一財) 油脂工業会館

協 賛： 弘前大学COI研究推進機構、(公社) 日本食品科学工学会 東北支部、
ひろさき産学官連携フォーラム 青い森の食材研究会

詳細掲載HP：(公社) 日本油化学会 関東支部HP

<https://jocs.jp/oil-multi/kantosibu/%E4%B8%BB%E5%82%AC%E3%82%BB%E3%83%9F%E3%83%8A%E3%83%BC/>

プログラム：

・特別講演

「超多項目健康ビッグデータで「寿命革命」を実現する」

弘前大学COI推進機構 教授 村下公一 氏

弘前大学COI拠点、巨大な産学官民連携チームで「寿命革命」をコンセプトに健康長寿社会実現をめざす。最大の強みは15年間に及ぶ健康人の超多項目(2000)健康ビッグデータの存在。地域・職域・学校をターゲットに、Society5.0時代における、市民をも巻き込んだ新ヘルスケア地域社会モデルを追求する最前線での取組を紹介する。

1. 「内臓脂肪を貯めない食事とオメガ3」

花王(株) ヘルスケア食品研究所 片嶋 充弘 氏

内臓脂肪肥満とそれに伴う生活習慣病の増大が問題となっています。花王は、簡便に内臓脂肪を測定可能な機器を開発し、それを活用した研究を行っております。オメガ3など内臓脂肪を貯めない食事、食習慣についての研究成果を報告します。

2. 「緑黄色野菜の健康効果と油を活用した賢い摂取方法」

カゴメ(株) イノベーション本部 自然健康研究部 菅沼 大行 氏

緑黄色野菜に特徴的な成分であるカロテノイドは、活性酸素種の一種である一重項酸素消去能が高い。弘前大学COIでの取組み内容も含め、その健康効果と効率的な摂取法について概説する。

3. 「スパイスと健康 ～スパイスとの正しい付き合い方～」

ハウス食品(株) 研究開発本部 イノベーション企画部 上野 正一 氏

ご家庭で使われているスパイスには知られざる健康効果がたくさん報告されています。しかし、その使い方がわからないことも多いと思います。スパイスの様々な健康効果をお伝えしながら、その上手な使い方をお話いたします。

参加費： 無料

申込方法： 氏名と連絡先を明記の上、10月12日（土）までにE-mailまたはFaxでお申し込みください。

令和元年度 第2回
油化学 セミナー
Japan Oil Chemists' Society
短命県返上に向けた油との正しい付き合い方

10.19 (土)
13:30～17:00 (受付開始 13:00)
弘前大学創立50周年記念会館 (岩木ホール)
〒030-8585 青森県弘前市文京町1番地

Program

■特別講演
超多項目健康ビッグデータで「寿命革命」を実現する
弘前大学COI推進機構 教授 村下公一 氏

■講演
1. 緑黄色野菜の健康効果と油を活用した賢い摂取方法
カゴメ(株)イノベーション本部 自然健康研究部 菅沼大行 氏
2. スパイスと健康 ～スパイスとの正しい付き合い方～
ハウス食品(株)研究開発本部 イノベーション企画部 上野正一 氏

主催 (公社) 日本油化学会 関東支部
共催 (一財) 油脂工業会館
協賛 弘前大学COI研究推進機構 (公社) 日本食品科学工学会 東北支部
ひろさき産学官連携フォーラム 青い森の食材研究会

当日の申し込み無しでのご参加も可能です。

申込先、お問い合わせ先：

〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地弘前大学 農学生命科学部 前多 隼人

E-mail：hayatosp@hirosaki-u.ac.jp TEL/FAX：0172-39-3790

令和元年度 弘前大学大学院保健学研究科

市民公開講座「足の科学からみたスポーツ障害の予防」開催のお知らせ（再掲）

足は万病のもとといえます。スポーツでけがをしては、せっかく鍛えた成果を充分出せずに終わってしまいます。特に足はどのようなスポーツでも基本になるものです。そこで、昨年に引き続いて、足の機能や形態について科学的見地からスポーツ時の障害予防について講師がわかりやすく説明します。また、足の健康について実際に足部計測して相談にのります。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

【日 時】令和元年年10月26日（土）10：00～11：30

【場 所】弘前大学50周年記念会館 岩木ホールAB（弘前市文京町1）

【対 象】一般市民，スポーツ指導者，運動部員，保護者等

【参加費】無料（事前申し込み不要）

【内 容】

講演「足の科学からみたスポーツ障害の予防」

講師：弘前大学大学院保健学研究科 教授 尾田 敦氏

足の健康相談コーナー

【主 催】弘前大学大学院保健学研究科

【お問い合わせ先】

弘前大学大学院保健学研究科総務グループ

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1

TEL：0172-39-5905 E-mail：jm5905@hirosaki-u.ac.jp



令和元年度 弘前大学総合文化祭「知の創造」市民公開講座

『青森県産食材から健康を！カシスとそばもやしの機能性』開催のお知らせ（再掲）

保健学研究科では弘前大学総合文化祭「知の創造」の催し物として『青森県産食材から健康を！カシスとそばもやしの機能性』をテーマに市民公開講座を開催いたします。

事前の申し込みは不要ですので、参加を希望される方は、当日直接会場にお越しください。

多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2019年10月27日（日） 10時00分～11時30分

2. 会 場： 弘前大学創立50周年記念会館 2F 岩木ホール



3. テーマ： 『青森県産食材から健康を！カシスとそばもやしの機能性』
4. 内 容： 講演1 「カシスが秘める植物性女性ホルモン効果」
七島 直樹 先生（弘前大学大学院保健学研究科准教授）
講演2 「カシスの摂取は更年期症状を軽減する！？」
堀江 香代 先生（弘前大学大学院保健学研究科助教）
講演3 「津軽の伝統野菜そばもやしとそばもやし由来細菌の機能性」
山内 可南子 先生（弘前大学大学院保健学研究科助教）
5. 入場料： 無料
6. 対 象： 一般市民・学生
7. 問合せ： 弘前大学大学院保健学研究科総務グループ（電話0172-39-5905）

※本事業は「国立大学フェスタ2019」（<http://www.janu.jp/univ/festa/>）に参加しています。

令和元年度弘前大学総合文化祭

「農学生命科学部市民公開講座：無肥料無農薬栽培（自然栽培）と農業の未来」開催のお知らせ（再掲）

1. 日時：令和元年10月27日（日）13：30～15：00
2. 場所：弘前大学農学生命科学部4階 433講義室
3. 対象：一般，教職員，学生の方等どなたでも歓迎いたします。
※参加無料，事前申込み不要です。
4. 受付：当日（433講義室前で行います。）
5. 演題 「無肥料無農薬栽培（自然栽培）と農業の未来」

講師 農学生命科学部 生物学科 教授 杉山 修一氏
内容 無肥料でなぜ作物を育てる事ができるか？
無農薬でなぜ病気や害虫を抑えられるか？
について最近の研究を紹介します。

問い合わせ先

弘前大学農学生命科学部地域連携推進室（事務：研究協力担当）
TEL：0172-39-3758 E-mail：jm3756@hirosaki-u.ac.jp



弘前大学大学院人文社会科学部 修士論文中間報告会（FD公开发表会）開催のお知らせ（再掲）

- ・日 時
令和元年10月30日（水） 14：30～18：30
- ・会 場
人文社会科学部棟4階 多目的ホール
- ・内 容
人文社会科学部（修士課程）の大学院生の研究発表

－発表者と発表題目－

- ・清藤 博（指導教員 成田 史子）
「労働時間法制の課題－長時間労働を中心に－」
- ・奈良 尚子（指導教員 成田 史子）
「就業規則の不利益変更に関する法的検討」
- ・濱田 玲英子（指導教員 亀谷 学）
「現代イランにおける初等教育の中の宗教－小学校教科書を題材に－」
- ・原田 大生（指導教員 泉谷 安規）
「初期サルトルのモラル論について－『存在と無』から『文学とは何か』にかけて－」
- ・王 鈺（指導教員 山本 秀樹）
「日本語のアクセントと中国語の声調における音楽性の分析」
- ・張 瑩（指導教員 山本 秀樹）
「数量表現構文のしくみ」
- ・木戸 奈央子（指導教員 関根 達人）
「北前船が運んだ酒－松前徳利と越後徳利－」
- ・張 瑞陽（指導教員 片岡 太郎）
「青銅器の修復と保護に関する研究－中国と日本における青銅器の保全と保存技術の比較研究－」
- ・全 斯瑀（指導教員 森 樹男）
「地方大学発ベンチャー企業におけるオープンイノベーションの取り組みに関する考察」
- ・任 星宇（指導教員 森 樹男）
「中国における日系企業の人的資源管理について－早期離職問題を中心に－」

弘前大学大学院
人文社会科学部 総合情報学センター
Hiroshima University Graduate School
Department of Humanities and Social Sciences
Center for Integrated Information Studies

学術の発展を促し、研究者を支援する

修士論文中間報告会

(FD公開発表会)

日時 令和元年10月30日(水) 14:30～18:30
場所 人文社会科学部校舎4階 多目的ホール

～プログラム～

14:30	開会の辞
14:35～14:55	労働時間法制の課題－長時間労働を中心に－ 清藤 博 (指導教員: 成田 史子)
14:55～15:15	就業規則の不利益変更に関する法的検討 奈良 尚子 (指導教員: 成田 史子)
15:15～15:35	現代イランにおける初等教育の中の宗教 濱田 玲英子 (指導教員: 亀谷 学)
15:35～15:55	初期サルトルのモラル論について －『存在と無』から『文学とは何か』まで－ 原田 大生 (指導教員: 泉谷 安規)
15:55～16:15	休息
16:15～16:35	数量表現構文のしくみ 張 瑩 (指導教員: 山本 秀樹)
16:35～16:55	日本語のアクセントと中国語の声調における音楽性の分析 王 鈺 (指導教員: 山本 秀樹)
16:55～17:15	北前船が運んだ酒－松前徳利と越後徳利－ 木戸 奈央子 (指導教員: 関根 達人)
17:15～17:45	休息
17:45～18:05	青銅器の修復と保護に関する研究－中国と日本における青銅器の保全と保存技術の比較研究－ 張 瑞陽 (指導教員: 片岡 太郎)
18:05～18:25	地方大学発ベンチャー企業におけるオープンイノベーションの取り組みに関する考察 全 斯瑀 (指導教員: 森 樹男)
18:25	閉会の辞

主催：弘前大学大学院 人文社会科学部研究科

当研究科の大学院生の研究活動や研究内容にご関心をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。
※入場無料、事前の申込は不要です。

- ・問い合わせ先
弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当
TEL：0172-39-3941 E-mail：jm3941@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学大学院人文社会科学部 大学院・入試説明会のお知らせ

(令和2年度春季入学：一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜) (再掲)

・日 時
令和元年11月8日(金) 18:00～19:10

・会 場
人文社会科学部校舎4階 多目的ホール

・内 容
入試の説明のほか、研究科の概要説明、個別相談等を行います。

～プログラム～

1. 新しい人文社会科学研究科について
2. 入学試験（一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜）について
3. 大学院生の声
4. 教員からのメッセージ
5. 院生室見学
6. 個別相談

・対象者

人文社会科学研究科に興味のある方ならどなたでも参加可能です。
大学院を検討しているすべての学年の方，どうぞご参加ください。
※事前の申込は不要です。

・問い合わせ先

弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当
TEL：0172-39-3941 E-mail：jm3941@hirosaki-u.ac.jp



弘前大学資料館第23回企画展について（再掲）

弘前大学資料館では第23回企画展として「弘前大学と昆虫学」を7月29日より11月2日まで開催いたします。

弘前大学では，これまで旧農学部，旧理学部時代から昆虫学の教育・研究が盛んに行われ，多くの研究者，昆虫学関係者を輩出してきました。卒業生/修了生は各方面で活躍し，日本の昆虫学の発展に力強く貢献しています。

また，弘前大学/青森県は豊かな自然に囲まれ，多くの昆虫とそのさまざまな暮らしを身近に見ることができます。ここでは，一歩，昆虫学の世界に踏み込むだけで，さまざまなテーマの研究に取り組むことができるのです。

弘前大学と昆虫学の関わりを振り返り，また青森の豊かな自然とそこにすむ昆虫を知ること，多くの方々に昆虫学に関心を持って頂きたいと思えます。

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第23回企画展 「弘前大学と昆虫学」

会 期：2019年7月29日（月）～2019年11月2日（土）
（日・祝・休日・8月13～15日は休館，10月27日は開館）
時 間：10：00～16：00
場 所：弘前大学資料館

本件問い合わせ先

・弘前大学資料館 電話：0172-39-3432 E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp



学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

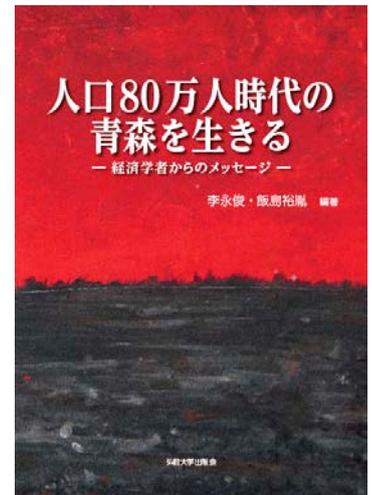
李 永俊（弘前大学人文社会科学部教授）・飯島裕胤（弘前大学人文社会科学部教授） 編著「人口80万人時代の青森を生きる—経済学者からのメッセージ—」（A5判，168頁，本体2,500円＋税）を出版しました。

～紹介文～

青森県，2040年代前半にも人口80万人時代に突入か。人口80万人時代の青森をいかに生きるか？この切実きわまりない問題に対して，弘前大学人文社会科学部の経済学研究者7名が，真正面から向きあった注目すべき意欲的な論集である。

労働，農業，貿易，環境，交通，銀行，金融政策といった多様な観点から，最新の研究成果に基づく経済学的分析を行い，大胆かつ現実的な予測や提言を多数提示し，地域の経済と社会の明日を見据える，待望の本格的な経済学論集。人口80万人時代の青森をしっかりと歩くための格好のガイドブックである。

ご興味をお持ちの方は大学生協または最寄りの書店でお買い求め下さい。



学生特別支援室相談会開催のお知らせ

学生特別支援室は，障害等により修学や学生生活に困難のある学生からの相談に応じ，よりよい学生生活を送れるよう支援しています。

昨年に引き続き，障害等のある学生（疑いを含む）への支援について教職員と話し合う，または，相談し合うための機会として，2019年度後期は以下の日程で相談会を開催します。

障害等のある学生（疑いを含む）への支援に苦慮している，支援室スタッフに尋ねたいことがある，あるいは障害学生支援に関心がある教職員の参加をお待ちしています。

開催日： 2019年度後期
11月13日（水），12月4日（水），1月8日（水），2月5日（水），3月11日（水）

時 間： 14：30 ～ 15：30 （時間内の出入りは自由です。）

会 場： 附属図書館3階 グループラーニングルーム

対 象： 本学の教職員

参加方法： 事前申込みは不要です。直接会場にお越しください。

参加スタッフ： 室長，コーディネーター，カウンセラー，支援室員等

問い合わせ先： 教育推進機構学生特別支援室

内 線：3266 E-mail：g-shien@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24（1949）年5月に新制大学として発足して以来、平成31（2019）年に創立70周年を迎えました。

創立70周年に際して、国際化や男女共同参画の推進、学生支援の充実など、主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。

については、多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが、創立70周年記念事業を成功させるため、更なるご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、創立70周年記念事業のホームページでは、クレジットカードによる寄附も可能でございますので、ご活用いただければ幸いと存じます。



【弘前大学創立70周年記念ロゴマーク】

【創立70周年記念事業ホームページ】 <https://www.hirosaki-u.ac.jp/70th.html>

○70周年のロゴマークを使用したパソコンの壁紙を作成しました。

右記URLからご覧いただけます。 <https://www.hirosaki-u.ac.jp/36723.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学会が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第52号」では、「発見！国立大学」において、内閣府「日本オープンイノベーション大賞」を受賞した弘前大学COIの取り組みが紹介されています。ぜひご覧ください。

最新号「国立大学第54号」

https://www.janu.jp/report/files/janu_vol54.pdf

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<https://www.janu.jp/report/>

その他、第52号・第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029